



市議会11月定例会で可決

11月26日～12月22日に開催された市議会定例会で可決された主な内容をお知らせします。

国の重点支援地方交付金を活用した
物価高騰対応に関する予算案件

プレミアム付デジタル商品券の発行

7億4081万円

市民生活の消費の下支えを通じた地域経済活性化を目的として、市内の対象店舗で利用できるプレミアム付デジタル商品券事業を実施します。商品券は1口5000円で70000円分の買い物ができ、1人あたり3口まで購入が可能(申し込み多数の場合は抽選)。利用期間は4月初旬～8月末までを予定しています。購入は、事前申し込み制で、3月下旬から開始予定です。

高齢者へのギフトカードの送付

5億3325万円

65歳以上の高齢者に対する経済的負担の軽減を目的として、1人あたり5000円分のギフトカードを送付します。3月下旬から順次発送予定です。

小学校給食費の保護者負担軽減

2億5402万円

子育て世帯の経済的負担を軽減するため、市立小学校給食費の無償化を1月から3月まで実施します。

物価高対応子育て応援手当

14億2029万円

子育て世帯の生活を支援するため、児童手当を受給する世帯に対し、児童1人

当たり2万円の物価高対応子育て応援手当の支給を行います。対象など詳しくは13ページへ。

中小企業者の生産性向上に向けた設備投資への補助

1億4000万円

市内の中小企業者が継続的な質上げを行える環境を整備するため、生産性向上に向けた設備投資を支援します。補助金額は、補助対象経費の3分の2で、上限200万円。購入前の設備が対象です。2月～3月に申請受け付けを開始する予定です。

福祉施設等への応援金の支給

3億2000万円

市民の生活や健康を支える社会インフラである福祉施設と医療機関などを支援するため、市内の認可または指定を受けている福祉施設や医療機関などに対し、応援金を支給します。

その他の予算案件

税務システム及びコンビニ交付システム
改修費用(令和7～8年度) 7208万円

豊一留守家庭児童育成室リース費用(令和7～18年度) 1億1968万円



市長コラム No.125

こもれび通り

肉筆で

後藤圭二

市長の声でお届け



コラムの音声版はこちら

「読み書きそろばん」は基本だとされています。読解力、筆記力、計算力は社会生活を送る上で最低限必要だからです。

さて、その読み書きそろばんの道具は、どんどんデジタル化し、文字は「書く」よりもキーボードで「入力する」ことが多くなりました。今、アナログ的な学習方法も大切だと言われ始めているようです。実際に手を動かして学習することで、集中力や記憶力、問題解決力が向上するとのこと。

たとえば昔、同じ漢字を何度も書かされま

したが、面倒な宿題には意味があったんですね。

スマホが助けてくれる今、薔薇や醤油、鯨などの難漢字もそうですが、英語も生成AIのお世話になっています。「書く」機会が減ったことは悪筆の私にとって喜ばしい反面、大切にすべき何かを便利さを追求する中で置き去りにしているような気がします。

そこで今回は初めてこの原稿の肉筆バージョンに挑戦。長年、かわいい丸文字を横書きしてきた私です。寛大な気持ちで「お読み下さい。あ、今回だけですからね。」